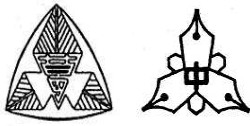


学校だより



すこやか

御所市葛小中学校

2022年8月5日発行No.5

発行者 西 邨 三 郎

◇戦後77年…戦争について考え、

「平和と命の大切さ」を学びました！！

明日は、77年前に「ヒロシマ」に原爆が投下された日です。今日の8月5日を、葛小中学校の平和登校日として位置づけ、小学部では今年も、『御所お話の会』の方々から戦争や平和に関わるお話をしていただきました。中学部では、国連でアピールされたマララ・ユスフザイさんのスピーチ映像から、「私たちができること」「私たちがすべきこと」はどんなことかを一人ひとり考え、グループで意見や思ったことを出し合い、平和と命の大切さについて深く考えました。

右の表に、戦時中の主な大空襲と原爆投下をあげていますが、奈良の地でも空襲があつて大きな被害に遭われたお話も聞きました。

また、校長室には昭和2年(1927年)にアメリカから親善使節(友情の人形)として送られた「青い目の人形」(葛小中学校の人形の名前はローズちゃん)があります。全国に12,736体、奈良県には144体が送られ、日本からは日本人形をアメリカに贈ったそうです。でも、第2次世界大戦が始まり、敵国の人形として多くは処分されました。ところが、「人形には罪はない！」という気持ちから、わからないように家に持ち帰って守ったそうです。現在、奈良県には、わずか4体しかありません。戦争は、罪のない人形にまでも被害を及ぼすのです。



◇恐ろしい戦争が、二度と起きない平和な世の中を！

1945年8月6日に広島、同9日に長崎に原爆が投下されました。投下直後から5年間で死亡した人は約340,000人。それより多くの方が、被爆による影響で耐えがたい苦しみを経験し、今もなお、苦しんでいる方もいます。世界には現在でも13,000発以上の核兵器が存在し、この多くは広島や長崎に落とされた原爆よりはるかに破壊力があるとされています。

昨年1月に「核兵器禁止条約」が発効され、62の国や地域が批准(今年の6月時点)していますが、日本はこの条約に批准していません。また、最近ニュースでも多く見ることがありますが、今年の2月24日にロシア軍がウクライナへ軍事侵攻し、ミサイルや爆弾が街や民家を焼き尽くし、何の罪もないウクライナ市民の多くが家を追われ亡くなっています。戦争が多くの人の命や幸せを奪い、生活を狂わせます。

戦争は、最大の差別です。被爆者が経験した原爆や戦争による苦しみを、二度と繰り返さないためにも、戦後77年の今を生きる私たちが平和な世の中にしていかなくてはなりません。

そのために、私たちがすべきことは何か、これからできることは何かを考えて、身近なことから行動していかなければならないと思います。

主な大空襲と原爆投下

東京大空襲

1945年3月10日
死亡者 約8万8千人
被害家屋 268,358戸

大阪大空襲

1945年3月13日
死亡者 3,987人
被害家屋 136,107戸

名古屋大空襲

1945年3月19日
死亡者 826人
被害家屋 39,893戸

横浜大空襲

1945年5月29日
死亡者 3,789人
被害家屋 79,350戸

広島原爆投下

1945年8月6日
死亡者 約14万人
被害家屋 51,787戸

長崎原爆投下

1945年8月9日
死亡者 73,884人
被害家屋 18,409戸